

## 漁 況 並 び に 海 況

ルソン島北東部近海  $\text{Lat } 19^{\circ} - 55' \text{ N}$ ,  $\text{Long } 122^{\circ} - 36' \text{ E}$  (Ⅴ1漁場) 使用漁具数 200 枚でキハダ鯖 13 尾 釣獲率 13.0% パセウカジキ 4 尾 0.40% 鯖 3 尾で 0.30%、フクロイナジキも僅かに 1 尾 丈釣獲されている其の他雑魚も 5 尾 釣獲されているが本漁場ではキハダの釣獲率が辛うじて 1% を感した丈で全般的に漁獲不振の状態である。魚体は大型魚が見受けられず小型魚の混つた中型魚がほとんどであった。潮流は N E W、1.4 課程程度の流速で透明度高く、0.5m を視察せり表面水深も高く 3.41 m を示し中層 (100m) の塩化は少なく以て変化が大きかった。

宮古島南方  $\text{Lat } 23^{\circ} - 16' \text{ N}$ ,  $\text{Long } 120^{\circ} - 13' \text{ E}$  (Ⅴ2漁場) 使用漁具数 200 枚 総漁獲率 1.10% 其の中キハダ 3 尾で 0.30% 鯖 5 尾、0.50% パセウカジキ 2 尾、0.20% タロカワカジキ 1 尾、0.10% 其の他を、冬季の漁場を思わせる様な漁獲振りて漁場価値がなかつた。潮流 N E、流速 1.4 ノットで水温は表面以下各層共緩慢な変化がもつた。

宮古島東方  $\text{Lat } 24^{\circ} - 45' \text{ N}$ ,  $\text{Long } 120^{\circ} - 14' \text{ E}$  (Ⅴ3漁場) 使用漁具数 150 枚 総漁獲率 1.46% で依然低調でありキハダの釣獲は僅かに 1 尾の 0.13%、フカ類 2 尾で 0.66%、パセウカジキ 2 尾で 0.26% 其他ノカジキ、タロカワカジキ、マカジキ、雑(サワラ) 各 1 尾でそれぞれ 0.13% の漁獲不振である。宮古島南部から東部近海に亘る海域に上記のとおり漁獲の対象とならず魚群の回遊が稀薄であったと云えよう。

### 久米島近海

Ⅵ)  $\text{Lat } 25^{\circ} - 3' \text{ N}$   $\text{Long } 125^{\circ} - 45' \text{ E}$  (Ⅴ4漁場) 使用漁具数 200 枚 総漁獲率 3.1% と上昇したがパセウカジキの釣獲が 16 尾で 1.60% で全漁獲量の過半数を示したのが特に目立っている。次にキハダの 8 尾で 0.80% タロカワ、メバチ各 1 尾で 0.10% 程度の漁獲なく雑魚 5 尾で 0.50% の漁獲単位である。尚キハダ鯖は 60~80% の大型魚と 30% 以下の小型魚が混獲され、大、小型の区別がむづかりしていた。

Ⅶ)  $\text{Lat } 25^{\circ} - 12.5' \text{ N}$ ,  $\text{Long } 125^{\circ} - 21' \text{ E}$  (Ⅴ5漁場) 久米島に是つとも接近した漁場で潮の干潮の影響も多小あつたものと思われるが一般的に暖流に支配され N E / S の約 1 課程の潮があつた漁場は最低率を示し島寄りでは魚群の回遊殆んど見られず時期尚早とも考へられた。使用漁具 200 枚 総漁獲率は 1.30% で其の中キハダ 3 尾 パセウカジキ 3 尾でそれぞれ 0.30% フカ 1 尾で 0.10% 其の他雑魚 6 尾で 0.50% となつている。

Ⅷ)  $\text{Lat } 25^{\circ} - 36' \text{ N}$ ,  $\text{Long } 126^{\circ} - 00' \text{ E}$  (Ⅴ6漁場) 本漁場は久米島北西方暖流域の中心部附近に位する場所とて漁況も良好し総漁獲率は 4.00% と相対高値を示している。使用漁具数は 200 枚 魚種別釣獲率はキハダ 19 尾 1.90%、パセウカジキ 12 尾 1.20%、フカ 4 尾で 0.40%、メバチ 1 尾 0.10%、鯖 5 尾 0.50% の漁獲単位となつている。潮流は順調な暖流に乗つた為か N E / N の約 1.6 課程の流速があつた。

海洋観測と採集一覧表

操業順位		1回	2回	3回	4回	5回	6回
年月日		6月25日	25日	26日	27日	28日	29日
投	時刻	08h-00分	08h-30分	12h-15分	08h-00分	06h-10分	06h-50分
	位置	122°-36'E 16°-05'N	125°-15'E 25°-16'N	126°-14'E 25°-02'N	125°-45'E 25°-02'N	126°-21'E 25°-22'N	125°-06'E 25°-35'N
	時刻	08h-30分	11h-25分	14h-15分	10h-25分	09h-45分	06h-15分
	位置	122°-53'E 16°-33'N	125°-01'E 23°-39'N	125°-58'E 25°-19'N	125°-45'E 25°-19'N	126°-40'E 25°-37'N	125°-01'E 25°-51'N
所要時間		2時間30分	2時間30分	2時間	2時間20分	2時間30分	3時間40分
捕	時刻	17h-25分	18h-05分	19h-35分	18h-30分	18h-30分	18h-25分
	位置	122°-34'E 15°-12'N	125°-17'E 23°-41'N	126°-08'E 25°-12'N	125°-57'E 25°-12'N	126°-49'E 25°-25'N	125°-15'E 25°-01'N
	時刻	23h-17分	23h-47分	23h-53分	0h-20分	0h-40分	0h-30分
	位置	122°-52'E 19°-09'N	125°-12'E 23°-37'N	126°-25'E 25°-41'N	125°-57'E 25°-31'N	126°-55'E 25°-50'N	126°-10'E 25°-22'N
所要時間		5時間55分	5時間30分	4時間15分	6時間17分	6時間10分	5時間55分
投網方向		SE	S30°W	WNW	NIW	NIW	NNW
捕獲方向		SE	N~NW	E	N~NE	NIW~NNW	
使用漁具数		200枚	200枚	150枚	200枚	200枚	200枚
使用钩数		1,000本	1,000本	750本	1000本	1000本	1000本
餌料		冷凍サマ	冷凍サマ	冷凍サマ	冷凍サマ	冷凍サマ	冷凍サマ
観測位置		122°-55'E 18°-35'N	125°-01'E 23°-30'N	125°-58'E 25°-19'N	125°-45'E 25°-19'N	126°-21'E 25°-22'N	125°-00'E 25°-02'N
日時		08h45分~ 9h30分	11h30分 12h30分	14h-30分 15h-00分	12h-40分 11h-40分	9h-10分 9h-50分	9h-30分 10h-15分
気	天候雲量	B 2	B 2	Bc 6	Bc 3	Bc 4	Bc 4
	気温	25.8℃	30℃	29.5℃	30℃	29℃	28.8℃
	気圧	1005.5mb	1005.6mb	999.6mb	1002.6mb	1001.6mb	999.6mb
浪	風向、風力	不明	DNE 1 N	2 N	1 N	WNE 1	NE 2

土 質 順 位		1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
高	雲 形	C1 C2	C1 C2 C3	C2	C4	C2	C2
	波 浪 の 加 り	0 1	1 2	2 2	1 2	2 1	3 2
	水 色	1	3	2	2	2	3
	透 明 度	49%	37	43	35	39	35
	潮 流	NW	NE	NNE	NE	NR/E	NE/N
	流 速	1.4 哩	1.4 哩	0.9 哩	1.3 哩	1.1 哩	1.6 哩
況	水深	水深比重					
	0 m	29.17	30	29.2 25.58	29.2 25.17	28.7 24.91	29.1 24.33
	25 f	29.72	28.45		28.21 25.37	27.60 25.28	28.12 25.14
	50 f	29.17	27.42	27.39 25.51	27.41 25.02	26.50 25.42	26.18 24.76
	75 f	27.50	26.21		25.75 24.96	25.21 24.39	25.05 25.04
	100 f	27.42	25.13	24.80 25.13	24.50 25.54	23.15 24.66	23.80 24.33
	150 f	23.22	23.02	24.10 27.06	22.80 25.18	21.50 25.15	21.15 24.35
	200 f	20.78	22.55		22.02 23.59	22.10 25.63	20.60 24.22

漁獲率一覽表

鱈、及イルカ等による被害魚含まず

操業海域	投餌位置	投餌方向	使用 漁具数	釣数	マダニ類		カマメ		ソケイ			計	其の他 雑魚	
					カマメ	メダカ	メダカ	メダカ	フウ ライ	鱈	鱈			鱈
ルノノ島北東部近海	39° - 55'N 132° - 30'E	北	400枚	3000本	13尾 1.30%	0	0	4尾 0.40%	0	0	1尾 0.10%	3尾 0.30%	21尾 2.10%	0尾
宮古島南東部近海	23° - 16'N 125° - 13'E	N 30° W	200枚	3000本	3尾 0.30	0	1尾 0.10	2尾 0.20	0	0	0	5尾 0.50	11尾 1.10	0尾
宮古島東部近海	24° - 45'N 128° - 14'E	北	150枚	3000本	1尾 0.13	0	1尾 0.13	2尾 0.26	1尾 0.13	1尾 0.13	0	5尾 0.66	11尾 1.46	1尾
久米島近海	25° - 2'N 125° - 49'E	N / W	200枚	1000本	8尾 0.80	8尾 0.80	1尾 0.10	16尾 1.60	0	0	0	0	26尾 2.60	5尾
同 上	25° - 125'N 126° - 21'E	N / W	200枚	1000本	3尾 0.30	0	0	3尾 0.30	0	0	0	1尾 0.10	7尾 0.70	6尾
同 上	26° - 35'N 126° - 00'E	N N W	200枚	3000本	19尾 1.90	1尾 0.10	0	12尾 1.20	0	0	0	4尾 0.40	36尾 3.60	5尾

② 上段漁獲率 下段釣獲率 釣獲率 = 漁獲尾数 / 釣数 × 100

鱈、イルカ等に係る漁獲物の被害率（マダロ、カシヤ類合計）

漁業海域	投網位置	漁獲高	被害魚尾数	被害率	備
ルソン島北東部近海	10° 55' N 122° 36' E	19尾	1尾	5.26%	観察に係る確切と認む。
宮古島南部近海	22° 15' N 122° 13' E	6尾	0	0.00	
宮古島東部近海	22° 40' N 122° 14' E	6尾	0	0.00	
久米島近海	22° 41' N 122° 59' E	26尾	0	0.00	
同上	22° 12' N 122° 21' E	6尾	0	0.00	
同上	22° 50' N 122° 00' E	35尾	3尾	8.57%	
					同上

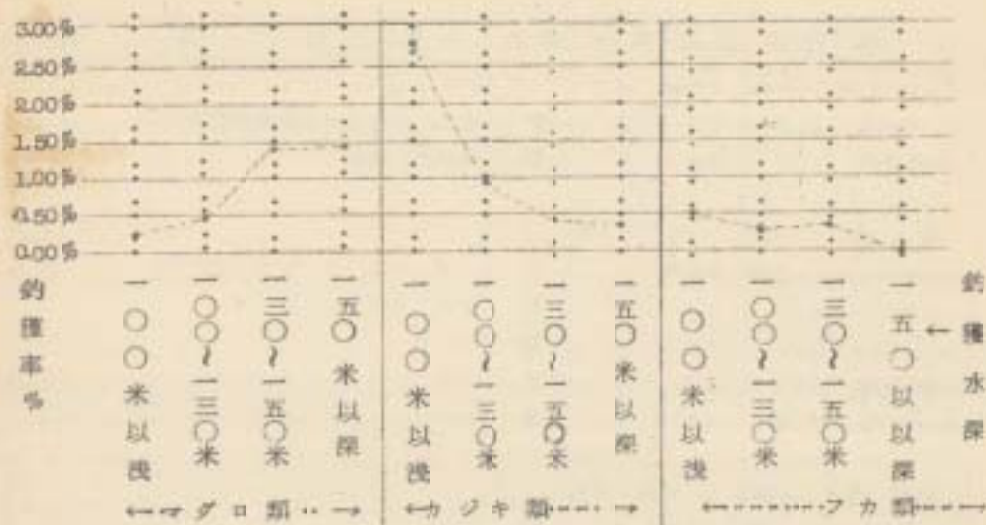
各枝種別漁獲状況 (雑魚= ナガラ、バラムツ、マンダイ、シイラ、カマス)

操業 順位	枝種 番号	魚獲物 (×日は鮫及イルガで依り別記)					フカ	雑魚	計	
		ヤヘダ	メバチ	クロカワ	シロカワ	バレン				
才 一 回 目	1	3尾	-	-	-	1尾	-	-		
	2	4尾	-	-	-	1尾	1尾	2尾		
	3	3尾	-	-	-	1尾	-	1尾		
	4	4尾	-	-	フウライカサ 1尾	-	1尾	1尾		
	5	1尾	-	-	-	1尾×2尾	1尾	1尾		
	種別計	15尾	-	-	-	1尾	4尾×1尾	3尾	5尾	20尾×3尾
才 二 回 目	1	尾	尾	尾	フウライカサ 1尾	尾	2尾	尾		
	2	1尾					1尾			
	3	2尾					2尾	1尾		
	4			1尾			1尾			
	5			1尾			2尾	5尾	11尾	
	種別計	3尾		1尾			2尾	6尾		
才 三 回 目	1	尾	マカシヤ 1尾	尾	尾	2尾	2尾	尾		
	2						1尾			
	3	1尾			マカシヤ 1尾		2尾	1尾		
	4			1尾						
	5					1尾	2尾	5尾	1尾	12尾
	種別計	1尾	1尾	1尾		1尾	2尾	5尾	1尾	12尾
才 四 回 目	1	尾	尾	尾		2尾		2尾		
	2	2尾	1尾			2尾		2尾		
	3	2尾				1尾		2尾		
	4	3尾				2尾				
	5	1尾		1尾		9尾		1尾		
	種別計	6尾	1尾	1尾		15尾		6尾	31尾	
才 五 回 目	1	尾				尾		2尾		
	2	1尾						1尾	1尾	
	3	1尾						1尾		
	4	1尾						1尾		
	5					3尾		1尾	1尾	
	種別計	3尾				3尾		1尾	6尾	13尾
才 六 回 目	1	2尾	1尾			4尾×2尾	2尾	1尾		
	2	1尾×1尾					1尾			
	3	6尾				1尾		1尾		
	4	10尾				4尾	1尾	1尾		
	5					3尾		2尾		
	種別計	18尾×1尾	1尾			7尾×2尾	4尾	5尾	41尾×6尾	

毎況と水深別漁獲状況

釣種 水深	使用 釣数	漁獲数(被害魚含む)			水 温		比 重 塩分量	潮流	流速	透明度
		マダロ類	カジキ類	磯類						
操業 一回	111#	400本	2尾	3尾	1尾	50米	29.17	NW	1.4速	40米
	137#	400#	8#	2#	2#	100	27.42			
	145#	200#	3#	1#		200	23.22			
二 回	104#	400本	#	1#	1#	50	27.42	NE	1.4#	37#
	128#	400#	1#	2#	1#	100	25.18			
	140#	200#	2#		1#	200	23.02			
三 回	111#	300#	#	3#	2#	50	27.30	NW	0.9#	43#
	135#	300#	#	1#	3#	100	24.80			
	155#	150#	1#	1#		200	24.10			
四 回	89#	400#	1#	11#	2#	50	27.61	NE	1.2#	34#
	128#	400#	6#	4#	3#	100	24.50			
	3番枝 145#	200#	2#	1#		200	22.80			
五 回	101#	400#	#	5#		50	24.30	NW	1.1#	39#
	145#	400#	2#		1#	100	23.15			
	155#	200#	1#			200	21.50			
六 回	115#	400#	2#	3#	2#	50	26.18	NW	1.5#	31#
	2番枝	400#	13#	4#	2#	100	23.80			
	3番枝	200#	6#	1#		200	21.15			
						200	20.60			

水深別漁獲状況を取集めて見る方が6回目の2~4番枝層を150米以浅3番枝を150米以深と見做すと大要次の如き結果が得られる即ち、100#以浅の場合は使用釣数400本で釣獲率はマダロ類1尾で0.25%カジキ類1尾で2.75%、フカ類2尾で0.50%となり100~130#の場合は使用釣数2700本で釣獲率はマダロ類1尾で0.40%、カジキ類2尾で0.92%、フカ類1尾で0.37%、130~150#の場合は使用釣数2100本で釣獲率マダロ類3尾で1.43%、カジキ類2尾で0.43%、フカ類2尾0.43%、150#以深の場合、使用釣数550本で釣獲率マダロ類2尾で1.45%、カジキ類2尾で0.36%、フカ類無となつてゐる。尚グラフで表わせば次表の通りである。



魚 体 測 定 記 録

魚 種	体 長	体 高	性 別	熟 度	胃 内 容 物
操業	1回目		6月23日		
キハダマダロ	102mm	34mm	♀	Ⅱ	アミ消化物
♀	104	34	♀	Ⅱ	イカ、他消化物
♂	105	35	♂	Ⅱ	種別不明雑魚他消化物
マンタイ	103	70	—	—	未測定
ハセウカシキ	109	27	不	明	♀
♀	101	28	♀	Ⅳ	フダ、アジ、イカ、チヌウオ
キハダマダロ	120	31	♂	Ⅲ	サンマ、イカ、他消化物
ハセウカシキ	150	25	♂	Ⅴ	消化物
キハダマダロ	129	31	♂	Ⅳ	ナン
♀	119	30	♂	Ⅲ	サンマ、他不明雑魚
ハセウカシキ	118	19	不	明	フダ、イコ
キハダマダロ	115	27	♀	Ⅲ	アミ
♀	121	32	♀	Ⅲ	アジ、イカ、タコ
♀	108	25	♀	Ⅱ	ナン
♀	120	30	♂	Ⅲ	イカ、他消化物
♀	114	29	♀	Ⅱ	イカ、アミ、タレントアイワシ他消化物
♀	122	31	♂	Ⅱ	イカ、他消化物
フタアイカンキ	131	15	不	明	ナン
キハダマダロ	103	25	♂	I	イカ、アジ
操業	2回目		6月25日		
ハセウカシキ	102mm	28mm	♂	明	イカ、タイワンアイノコイワシ
キハダマダロ	117	29	♀	Ⅲ	イカ、種別不明雑魚
♀	118	29	♀	Ⅲ	タイワンアイノコイワシ、アジ



魚種	体長	体高	性別	熟度	胃内容物
クロカワカシキ	168 <sup>00</sup>	32 <sup>00</sup>	♂		ナシ
キハダマダロ	143	39	♂	N	イカ、サコフネ(小魚消化不明)
ハセウカシキ	150	25	不	明	カツオ、幼魚
操業	5回目				6月26日
クロカワカシキ	141 <sup>00</sup>	33 <sup>00</sup>	♂	N	フグ、イカ、サンマ他消化不明
ハセウカシキ	155	30	不	明	アジ、カツオ、カワハギ
マカジキ	119	19	♀	Ⅲ	カツオ
ハセウカシキ	161	32	♂	I	アジ
キハダマダロ	108	21	♂	Ⅱ	ナシ
操業	4回目				6月27日
ハセウカシキ	145 <sup>00</sup>	25 <sup>00</sup>	不	明	ナシ
キハダマダロ	145	39	♀	N	イカ、タイワンアイノコイワシ
#	156	40	♂	Ⅲ	イカ、サンマ
#	73	20	♂	I	ナシ
ハセウカシキ	136	27	♀	V <sup>†</sup>	タイワンアイノコイワシ、イカ(カツオ幼魚?)
#	139	25	♂	V	イカ、サチウオ
#	142	25	♂	V	サカサゴ、(サネーラー)
#	151	29	♂	V <sup>†</sup>	サンマ、アジ、イカ、タイワンアイノコイワシ
#	157	27.5	♀	N	アジ他仔魚消化不明
#	150	22	♀	Ⅲ	アジ
#	163	29	♀	Ⅱ	タイワンアイノコイワシ
#	154	27	♀	Ⅱ	イカ、タレタチイワシ、アジ
#	160	28	♂	Ⅱ	イカ、サンマ
ノバチ	102	29	♂	I	サチウオ、イカ
クロカワカシキ	134	27	♀	Ⅲ	不明
キハダマダロ	151	20	♂	Ⅳ	イカ、サンマ
ハセウカシキ	164	30	♀	I	サンマ、アミ、アジ、イカ
キハダマダロ	114	29	♀	Ⅲ	小オカナ(種別不明)
#	141	36	♀	Ⅳ	小魚(種別不明)
#	125	32	♂	Ⅳ	不明
ハセウカシキ	160	24	♀	Ⅲ	タレタチイワシ
キハダマダロ	110	28	♂	Ⅲ	イカ、サンマ
ハセウカシキ	170	27	♀	V <sup>†</sup>	タレタチイワシ 1尾
#	160	26	♂	V <sup>†</sup>	イカ
#	123	21	♂	V	消化不明
#	123	23	♂	V	タレタチイワシ

魚種	体長	体高	性別	熟度	胃内容物
バセウカジキ	117 <sup>00</sup>	23 <sup>00</sup>	不明	I	消化不祥
#	118	22	♀		タレクタイワシ、アミ
操業	5回目	6月	28日		
バセウカジキ	151 <sup>00</sup>	27 <sup>00</sup>	♂	?	カツオ1尾
キハダマグロ	118	30	♂	Ⅲ	イカ、フグ
#	110	28	♀	Ⅲ	サンマ、チノウオ、フグ、イカ
#	122	30	♂		チノウオ
バセウカジキ	131	23	不明		カツオ
#	131	22			チカサゴ、アヂ、イカ(カツオ?)
操業	6回目	6月	28日		
バセウカジキ	162 <sup>00</sup>	28 <sup>00</sup>	?	V	フグ 消化
#	160	28	♂	V	不明魚(ヤマトナガイユ?)
#	157	25	♀	V	カツオ3尾(幼魚)他消化物若干
#	160	26	♂	V	アヂ
#	155	30	♀	N	(即放し始)不明幼魚1尾(カツオ幼)
キハダマグロ	76	20	♀	I	アヂ
#	117	27.5	♀	Ⅱ	消化物(仔魚)
#	108	26	♀	Ⅱ	ナン
バセウカジキ	152	24	♀	V	サンマ
キハダマグロ	97	32	♂	I	イカ
バセウカジキ	145	25	♂	I	タレクタイワシ
キハダマグロ	100	25	♂		イカ其他不明
トンボ	50	15	不明	-	-
キハダマグロ	90	23	♀	I	タレクタイワシ、サンマ
#	85	23	♂	I	サンマ、タレクタイワシ、イカ
メバチ	119	35	♂	I	消化不明(仔魚)若干
キハダマグロ	115	30	♂	N	タレクタイワシ、若干
#	90	22	不明		サンマ5尾
#	85	23	♀		ナン
#	94	25	♀	I	イカ、タイワンアキノコイワシ
#	116	31	♀	Ⅲ	タイワンアキノコイワシ
#	85	22	♀	I	タイワンアキノコイワシ
#	127	30	♀	Ⅲ	タイワンアキノコイワシ
#	80	22.5	♂	I	イカ、ナンマ
#	65	18	♀	I	消化物
#	100	27	♂	Ⅱ	サンマ、イカ、タイワンアキノコイワシ

## 所 感

### 1. 近海鮪漁業の将来

琉球に於ける近海鮪漁業は沿岸から近海と今日ではフィリピン東方海上迄出漁する様になり、漁船も逐次小型から中型化する傾向にあり漁場も拡大され発展の途上に来たものと推察されるが反面漁場の控管とマニラは尙一層の努力と体験を必要とするので今後調査船回遊丸の稼働機会に海洋観測と並行し漁場調査を実施し鮪漁業の発展に資したいものである。

### 2. 漁場調査の経緯 (1) 宮古島南～東方近海

黒潮の魚群をつた後(時期)は例はなげ横つて来遊する魚群をかかつたらしく漁獲の対象とならず漁期間放時の様に思考された。

#### (2) 久米島近海

黒潮の流れている久米島比西～西方漁場は黒潮流域中央部にて最高率の漁獲を示し黒潮縁辺五府近から島寄りに接近するにつれて漁獲の減少が見られた。これは横流に乗って北上回遊した魚群と推察され、黒潮の漁場外れを追つた、キハダやカジキ類の漁期到来が考へられる。尙バセウカジキの場合は本漁場も漁場の一つと考へられ魚体測定の結果卵巣は肥大し卵の放卵が見受けられ又卵の直後のものも確認された。

